



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部長 (氏名) 渡邊 理史

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,996	△0.1	552	△0.4	542	1.5	329	△0.6
25年3月期第3四半期	9,006	△11.2	554	△32.7	534	△32.0	331	△29.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 338百万円 (2.3%) 25年3月期第3四半期 331百万円 (△26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.97	—
25年3月期第3四半期	27.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,809		4,498		41.6	
25年3月期	10,430		4,282		41.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,498百万円 25年3月期 4,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	6.2	720	12.9	670	7.6	410	6.4	33.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	13,029,500 株	25年3月期	13,029,500 株
26年3月期3Q	812,683 株	25年3月期	811,306 株
26年3月期3Q	12,217,604 株	25年3月期3Q	12,219,688 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策などにより、円高の是正や株価の回復が進み、緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、海外においては、長引く欧州経済の低迷や新興国経済の減速などもあり、景気の先行きについては、依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く当第3四半期における事業環境は、アンチモン事業は国内需要減退や競争激化などにより低迷しましたが、金属粉末事業が好調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期の売上高は前年同期比10百万円減収（0.1%減収）の8,996百万円、営業利益は2百万円減益（0.4%減益）の552百万円、経常利益は7百万円増益（1.5%増益）の542百万円、四半期純利益は2百万円減益（0.6%減益）の329百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、緩やかな下降基調から、7月中旬以降は上昇基調となり、10月下旬以降は下降基調となりましたが、12月下旬に上昇に転じています。当第3四半期の平均はトン当たり10,087ドルで、前年同期の12,921ドルに比して21.9%ダウンとなりました。円建てでは3.2%のダウンとなりました。

同事業の販売状況につきましては、家電産業などが生産拠点を海外に移転したことなどによる需要減退により、販売数量は、前年同期比173トン減少（3.8%減少）の4,441トンでありました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、相場の下落と販売数量の減少により、277百万円減収（5.2%減収）の5,092百万円となりました。セグメント利益は、海外競合会社との価格競争激化などの影響により、115百万円減益（46.6%減益）の132百万円となりました。

[金属粉末事業]

電子部品向け微粉末金属粉は、好調なスマートフォン関連需要に支えられ、順調に推移いたしました。自動車部品向けが主用途である粉末冶金向け金属粉は、自動車生産において軽自動車、小型車が中心となったことから、部品需要が減退する影響を受けました。

用途別の販売状況の実績につきましては、電子部品向け微粉末金属粉は、68トン増加（15.1%増加）の521トン、粉末冶金向け金属粉は、18トン減少（1.5%減少）の1,229トンとなり、全体では前年同期比50トン増加（2.9%増加）の1,750トンでありました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は付加価値の高い電子部品向け微粉末金属粉の販売数量が増加したことから、266百万円増収（7.3%増収）の3,892百万円となりました。セグメント利益も、微粉末金属粉の販売数量増加により、116百万円増益（42.4%増益）の392百万円となりました。

[その他]

当第3四半期不動産賃貸事業の売上高は10百万円（前年同期比7.9%増収）、セグメント利益は9百万円（前年同期比8.7%増益）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,467百万円となり、前連結会計年度末と比べ299百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が205百万円増加したことによるものであります。

固定資産は4,338百万円となり前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が140百万円減少いたしました。投資その他の資産が225百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は10,809百万円となり、前連結会計年度末と比べ378百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,764百万円となり、前連結会計年度末と比べ156百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加した226百万円減少いたしましたが、支払手形及び買掛金が530百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,546百万円となり前連結会計年度末に比べ5百万円増加しております。

この結果、負債合計は、6,311百万円となり、前連結会計年度末と比べ162百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,498百万円となり、前連結会計年度末と比べ216百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加した329百万円増加したこと及び配当により122百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.6%（前連結会計年度末は41.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,040,248	2,019,846
受取手形及び売掛金	1,888,087	2,093,583
有価証券	1,000	—
商品及び製品	1,200,872	1,229,100
仕掛品	182,427	227,823
原材料及び貯蔵品	770,831	816,841
その他	90,628	86,793
貸倒引当金	△6,184	△6,790
流動資産合計	6,167,911	6,467,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,766	1,287,292
機械装置及び運搬具（純額）	1,040,525	959,713
土地	1,478,590	1,478,590
その他（純額）	69,975	69,125
有形固定資産合計	3,934,858	3,794,722
無形固定資産	66,115	61,585
投資その他の資産	257,437	482,511
固定資産合計	4,258,411	4,338,819
繰延資産	4,525	3,392
資産合計	10,430,848	10,809,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	889,063	1,419,544
短期借入金	1,987,500	1,761,350
未払法人税等	99,698	93,065
賞与引当金	97,143	44,973
その他	534,357	445,516
流動負債合計	3,607,762	3,764,449
固定負債		
社債	274,000	246,000
長期借入金	1,819,900	1,848,950
退職給付引当金	304,535	311,535
負ののれん	787	—
資産除去債務	35,279	34,971
その他	106,497	105,319
固定負債合計	2,540,999	2,546,775
負債合計	6,148,762	6,311,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,859,236	3,066,610
自己株式	△146,705	△147,079
株主資本合計	4,295,383	4,502,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,297	△4,197
その他の包括利益累計額合計	△13,297	△4,197
純資産合計	4,282,086	4,498,185
負債純資産合計	10,430,848	10,809,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,006,685	8,996,062
売上原価	7,820,729	7,800,211
売上総利益	1,185,955	1,195,851
販売費及び一般管理費	631,536	643,525
営業利益	554,419	552,326
営業外収益		
受取配当金	1,488	1,996
負ののれん償却額	23,713	787
為替差益	—	24,187
助成金収入	5,484	900
その他	8,504	7,992
営業外収益合計	39,191	35,862
営業外費用		
支払利息	40,529	30,323
為替差損	7,049	—
その他	11,182	15,107
営業外費用合計	58,761	45,430
経常利益	534,849	542,758
特別損失		
固定資産売却損	2,881	—
固定資産除却損	5,093	3,277
ゴルフ会員権売却損	3,376	—
特別損失合計	11,351	3,277
税金等調整前四半期純利益	523,498	539,480
法人税、住民税及び事業税	185,225	200,287
法人税等調整額	6,701	9,643
法人税等合計	191,927	209,930
少数株主損益調整前四半期純利益	331,570	329,549
四半期純利益	331,570	329,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	331,570	329,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△491	9,100
その他の包括利益合計	△491	9,100
四半期包括利益	331,078	338,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	331,078	338,649

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,370,518	3,626,306	8,996,824	9,860	9,006,685	—	9,006,685
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	23,907	23,907	—	23,907	△23,907	—
計	5,370,518	3,650,213	9,020,732	9,860	9,030,592	△23,907	9,006,685
セグメント利益	248,437	275,718	524,155	9,155	533,311	21,108	554,419

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額21,108千円はセグメント間取引の消去21,108千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,092,820	3,892,605	8,985,426	10,636	8,996,062	—	8,996,062
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	30,245	30,245	—	30,245	△30,245	—
計	5,092,820	3,922,850	9,015,671	10,636	9,026,308	△30,245	8,996,062
セグメント利益	132,605	392,628	525,234	9,953	535,187	17,138	552,326

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額17,138千円はセグメント間取引の消去17,138千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。